学校長挨拶

御支援有難うございます

新潟県立高田高等学校長　草間　俊之（高25回）

校友会東京支部の皆様方には、日頃から、本校の教育活動に御理解と御支援をいただき、有難うございます。生徒、保護者、教職員を代表し、御礼申し上げます。

また、昨年に引き続き、今年も東京支部総会に参加させていただき、多くの皆様方から、直接、温かい激励をいただきました。重ねて御礼申し上げます。

高田高校は、今年も日々是充実、これも、素直な生徒、情熱的な教職員、理解ある保護者、母校を愛する校友会の皆様のおかげであると感謝しております。

現在、校舎改築もほぼ完了、本校は大変恵まれた環境の中にあり、時々、恵まれ過ぎではないかと思うこともあるほどです。

さて、今日の青少年に関する様々な問題は、日本経済の大きな転換期、プラザ合意以降に生まれた子どもたちの成長に伴って指摘されてきました。現在の若者は、少しでも自分の欲望を抑えられると我慢できず、キレ易い。また、独創性がなく、課題解決への意欲が不足しているなどなどであります。しかし、考えてみれば、皮肉なことに、肉体的にも、精神的にも、子どもたちから耐性を奪ったのは、現代の便利さや快適さ、豊かさともいえます。また、独創性、課題解決意欲を不足させたのは、５つの選択肢の中から、確かにある１つの正解を選ぶという思考パターンを同世代の若者に強いている大学入試センター試験ともいえます。

今更もとには戻れませんが、現代社会の矛盾や流行を踏まえつつ、教育の不易を忘れず、知性と教養に裏打ちされ、個性的思考とパートナーシップを身に付けたバンカラ高高生の育成、そして何事も自分で選択し、その選択に責任をもつ覚悟をもって先行き不透明な厳しい社会を生き抜き、我が国をリードする人材の育成に努力したいと考えております。

末筆ながら、今後とも御支援を御願い申し上げるとともに、校友会東京支部の益々の御発展を祈念いたします。